

第1回産業振興講演会開催

「不易流行」の考えに企業発展の真髄あり



鶴野四郎さん

9月20日、三刀屋文化体育館アスパルで、第1回産業振興講演会を開催。元トヨタ自動車株式会社第3機械課長で、現在NPO法人J.S.K会長の鶴野四郎さんに講演いただき、市内企業関係者など約90人が、企業経営などに関する意識の高揚を図りました。

鶴野さんは、トヨタ自動車創業時からの歴史にふれながら、同社が必要な物を、必要な時に、必要なだけ適切に生産する「ジャストインタイム」や不良品が発生した際に機械が自動的に停止

する「自動化」に取り組み、トヨタ生産方式を確立したことや「物づくりは、人づくり」との観点から、あいさつや整理・整頓といった基本的事項を社員に徹底教育し、忠誠心、責任感、感謝の心など、資質を総合的に向上させる人材育成を行っていることを紹介。創業以来、徹底的な無駄の排除と品質保証の努力を重ね、その作業を確実に遂行できる人材を育成してきたことが、世界有数の企業となった原動力であるとの考えを示しました。

また、バブル期に土地取引の確実な儲け話を、トヨタは1秒、1歩、1円、1個の改善をめざす企業であるとの理由で断ったという逸話も紹介。数十億の儲け話を断ってまで、会社の理念である「絶え間ざる改善魂」を守り、継承したと話し、同社発展の裏側に地道な企業努力があったことを重ねて強調しました。

「不易流行」の考えにこそ企業発展の真髄が秘められていることを参加者らに伝え、最後は「その障子を開けてみよ！世界は広がっている」と激励の言葉を送り、講演を締めくくりました。

# 雲南ニュース



10月8日、明石緑が丘公園で永井隆記念明石高原平和ロードレース大会が開催され、約180人が参加、その健脚を競いました。

長崎で被爆しながらも「如く愛人」や「平和を」の精神を世界に向け訴え続けた永井隆博士の遺徳を讃えるとともに、平和に対する意

識の高揚やスポーツの振興を目的に実行委員会が毎年体育の日に実施しているもので、今年で12回目を数えます。

大会は公園内を回る1周2.5kmのコースで行われ、「5km」「5.0km」「10km」の3つの距離に分かれタイムを競いました。勾配のきつい周回コースにもかかわらず、力強く大きなストライドで走り、ゴール寸前まで優勝を争った中学生男子の白熱したレースがとて印象的でした。

また、競技とは別にジョギング部門（2.5km）も設けられ、親子連れなどが参加。ゆったりとしたペースでコースを1周し、体育の日の活動を楽しんでいるようでした。

第12回永井隆記念明石高原平和ロードレース大会  
小雨降る中、健脚競う

雲南市健康講演会開催  
病気になるない生き方からづくり



安保 徹教授

9月22日、免疫学の権威である新潟大学大学院医歯科学総合研究科 安保徹教授を招き、チェリヴァホールで雲南市健康講演会を開催。参加者約40人が「病気になるない生き方からづくり」について学びました。

安保教授ははじめに、自律神経が交感神経と副交感神経とからなり、これらがバランスよく機能することで私たちの健康が保たれていることや、自律神経の働きで体内から分泌されるホルモンが白血球の活性化を促していることなど、自律神経の仕組みや白血球の働きとの関連性について説明しました。

その上で、「ストレス過多や過度のリラックス状態が続くと、自律神経や白血球の正常な働きが阻害され、体内の組織が破壊されることでガンを発症したり、免疫力が過剰になりアトピーやアレルギーなどの症状が出たりする」と、現代人がかかりやすい病気の原因を指摘。「病気を予防するためには、自律神経や白血球の働きを理解することが大切」との考えを示し、「自律神経の正常な働きを促すため、自己の責任で一人ひとりが生活習慣を見直し、病気になるない生き方からづくりがかけました。」



雲南市町の「J・ラ・ム

「やれでやるより、やるでやれ」とは、先日行われた雲南市産業振興センター主催の講演会で話された言葉です。講師は、かつてトヨタ自動車に勤めておられた鶴野四郎さんという方でした。言葉の意味するところは、読んで字のごとく、物事に取り組むにあたって、人にやれと言われてではなく、自らの意志で実行することが大切、との教えでした。そのほかにもトヨタを日本が誇る売上世界一の超優良企業にならした様々なトヨタイズムのお話がありました。企業は人なりと言います。民間でも行政組織でも発展、向上していくためには、人材の育成こそ最重要課題です。なにかの本で読みましたが、人材は財産としての価値がある人、人任はただいるだけの人、人罪は邪魔になる無駄な人とのこと。トヨタイズムの真髄は、人、物、金、すべてにわたってあらゆる無駄をなくすことに立脚する、と理解しました。自らの意志による行動は、自らを無駄と言われない人財に昇華させる最善の手段だと思います。私自身も冒頭の言葉を座右の銘にしたいと思えます。



出雲大東駅周辺整備事業竣工式にて  
(9月28日)